

生涯学習について

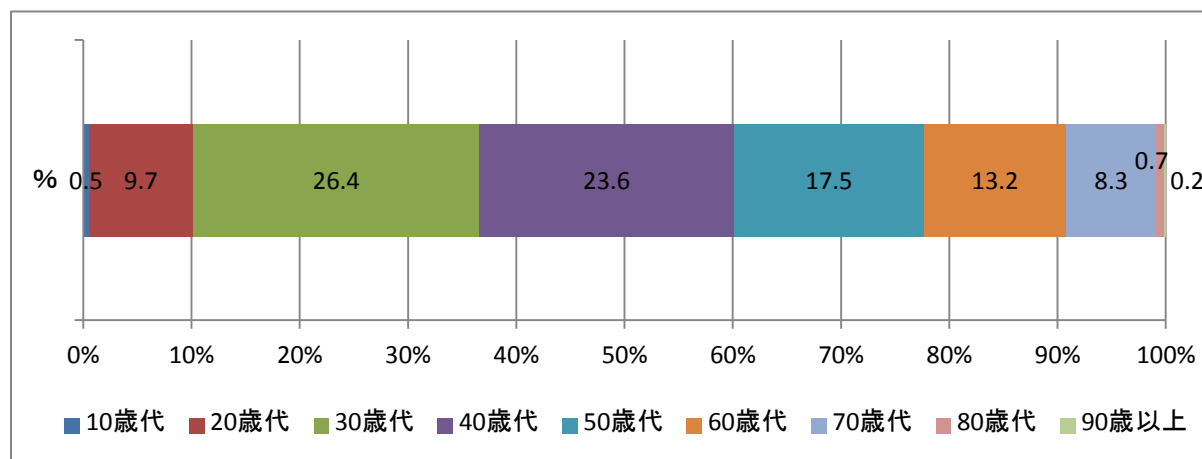
□調査期間 平成27年9月24日～平成27年10月4日

□調査の趣旨 生涯学習についてお聞きします。
※「生涯学習」とは、人々が、生涯のいつでも、どこでも、自由に行う学習活動のことで、学校教育や、公民館における講座等の社会教育などの学習機会に限らず、自分から進んで行う学習やスポーツ、文化活動、趣味、ボランティア活動などにおけるさまざまな学習活動のことをいいます。

□対象者数 424 人(平成27年9月24現在)

(図および表中の比率は、少数点第2位を四捨五入して表示しています。したがって、内訳を合計しても100%に合致しない場合があります。)

内訳	人数	%
10歳代	2	0.5
20歳代	41	9.7
30歳代	112	26.4
40歳代	100	23.6
50歳代	74	17.5
60歳代	56	13.2
70歳代	35	8.3
80歳代	3	0.7
90歳以上	1	0.2
合計	424	100.1



□回答者数 314 人

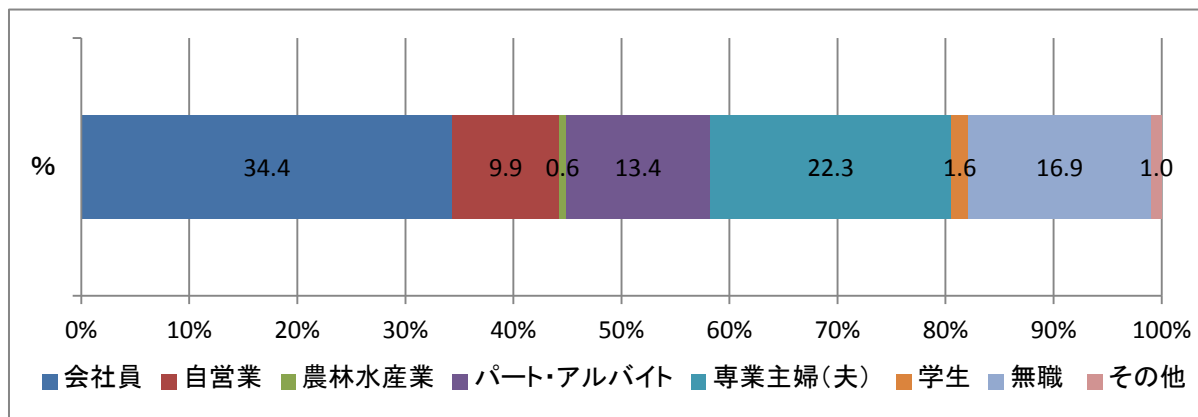
□回答率 74.1 % (平成27年4月24日時点)

【ご職業】

内訳	人数	%
会社員	108	34.4
自営業	31	9.9
農林水産業	2	0.6
パート・アルバイト	42	13.4
専業主婦(夫)	70	22.3
学生	5	1.6
無職	53	16.9
その他	3	1.0
合計	314	100.1

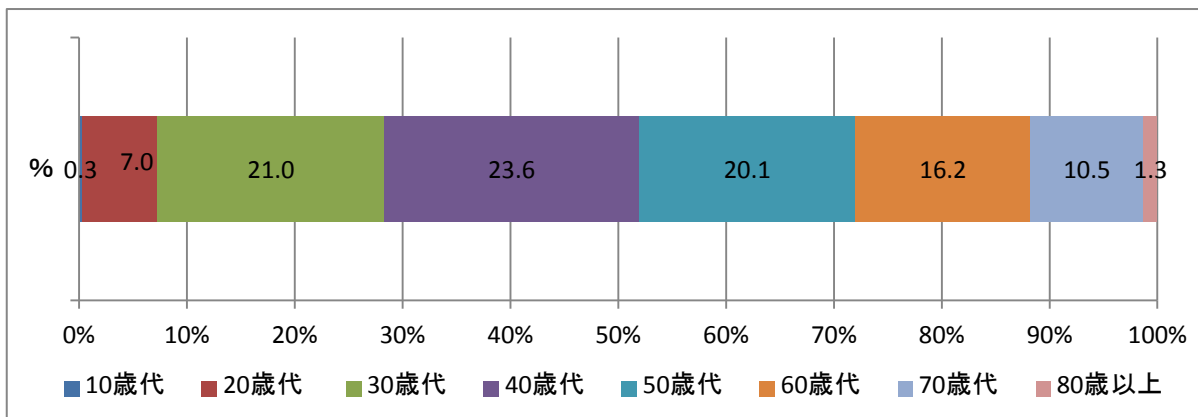
その他のご職業

- ・会社役員
- ・団体職業
- ・NPO団体理事



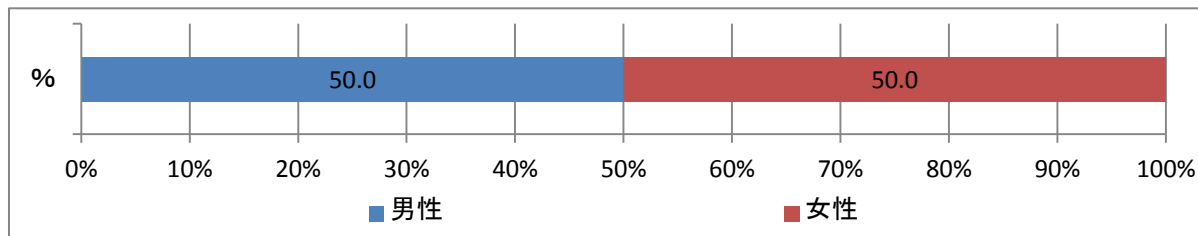
【年齢】

内訳	人数	%
10歳代	1	0.3
20歳代	22	7.0
30歳代	66	21.0
40歳代	74	23.6
50歳代	63	20.1
60歳代	51	16.2
70歳代	33	10.5
80歳以上	4	1.3
合計	314	100.0



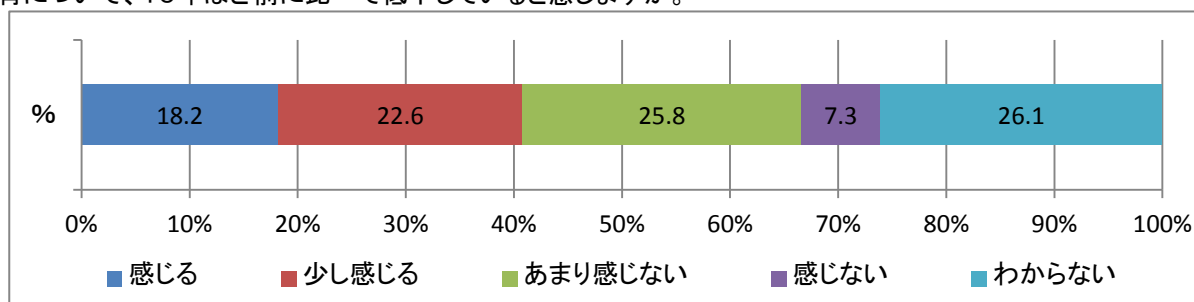
【性別】

内訳	人数	%
男性	157	50.0
女性	157	50.0
合計	314	100.0



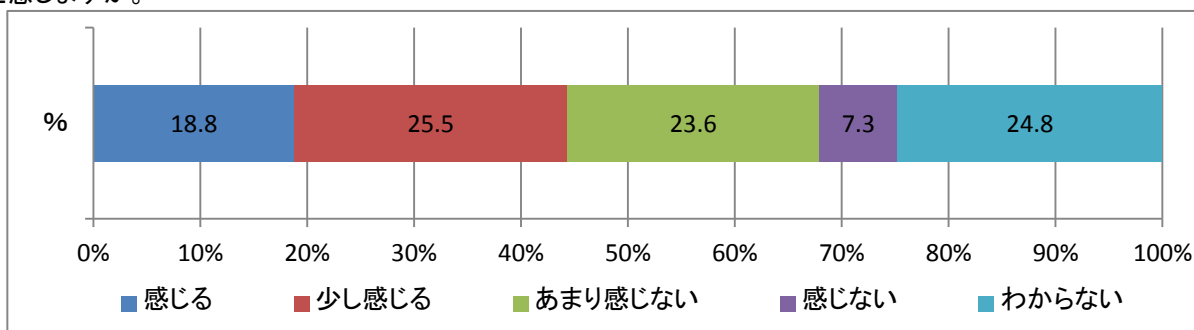
問1 和歌山市では生涯学習の振興に努めていますが、社会全体における家庭教育について、10年ほど前に比べて低下していると感じますか。

内訳	回答	%
感じる	57	18.2
少し感じる	71	22.6
あまり感じない	81	25.8
感じない	23	7.3
わからない	82	26.1
合計	314	100.0



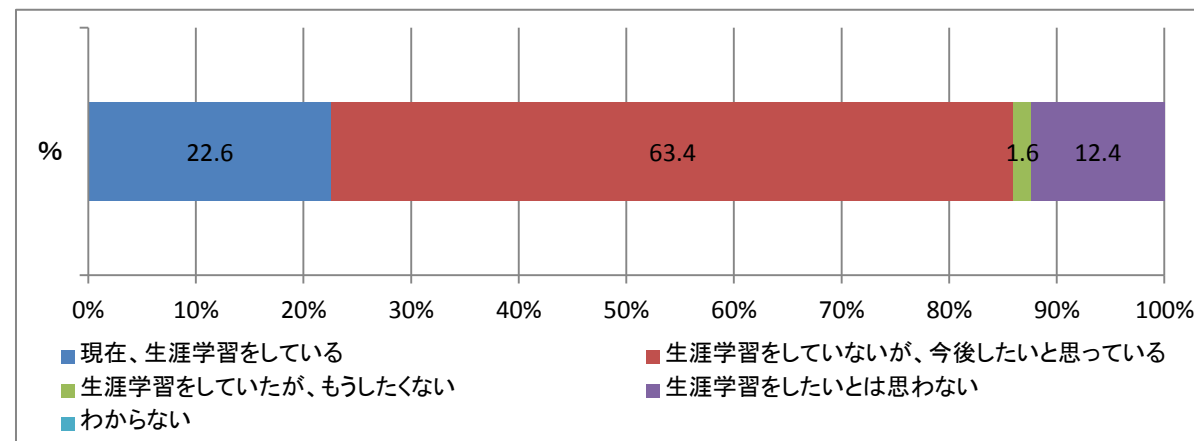
問2 あなたの周りの地域の教育力について、10年ほど前に比べて低下していると感じますか。

内訳	回答	%
感じる	59	18.8
少し感じる	80	25.5
あまり感じない	74	23.6
感じない	23	7.3
わからない	78	24.8
合計	314	100.0



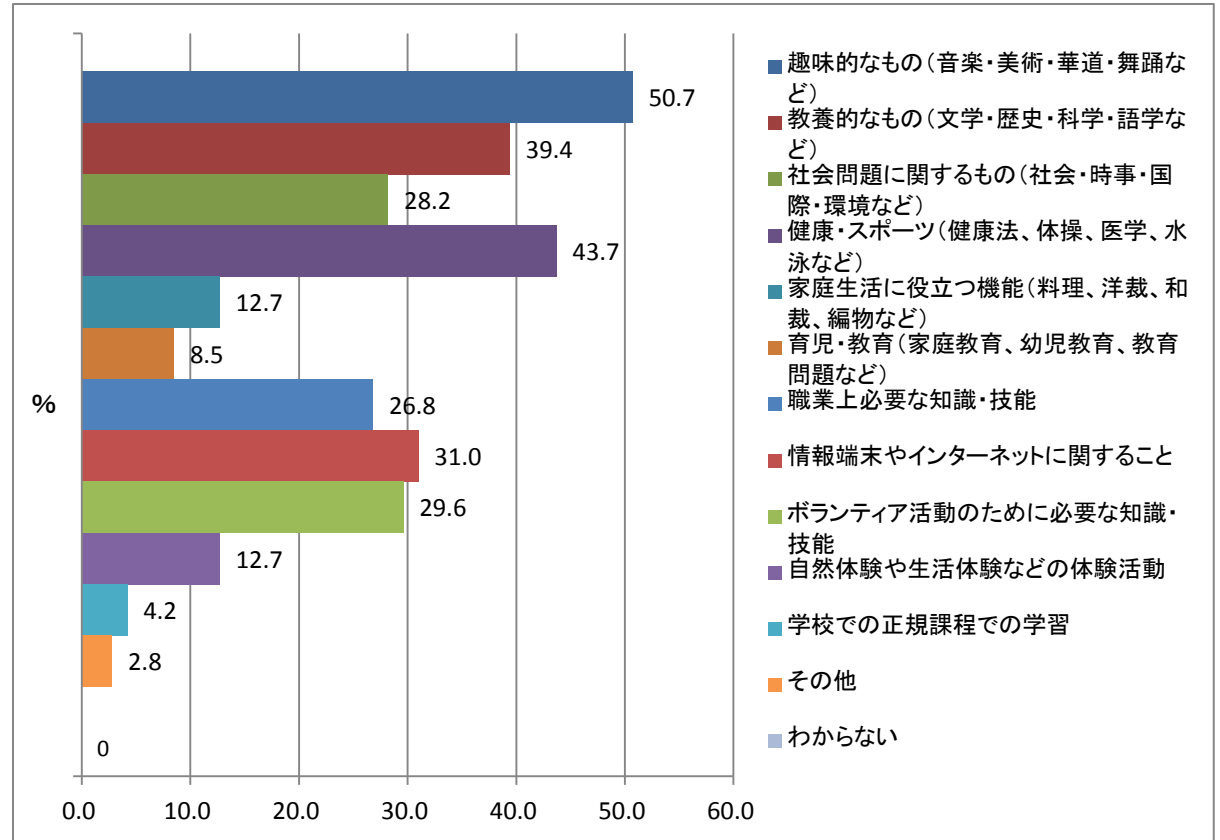
問3 生涯学習をしたいと思いませんか。

内訳	回答	%
現在、生涯学習をしている	71	22.6
生涯学習をしていないが、今後したいと思っている	199	63.4
生涯学習をしていたが、もうしたくない	5	1.6
生涯学習をしたいとは思わない	39	12.4
わからない	0	0.0
合計	314	100.0



問3-1 「現在、生涯学習をしている」と回答された方にお聞きます。現在している生涯学習はどの分野ですか。(複数回答可)(n=71)

内訳	回答	%
趣味的なもの(音楽・美術・華道・舞踊など)	36	50.7
教養的なもの(文学・歴史・科学・語学など)	28	39.4
社会問題に関するもの(社会・時事・国際・環境など)	20	28.2
健康・スポーツ(健康法、体操、医学、水泳など)	31	43.7
家庭生活に役立つ機能(料理、洋裁、和裁、編物など)	9	12.7
育児・教育(家庭教育、幼児教育、教育問題など)	6	8.5
職業上必要な知識・技能	19	26.8
情報端末やインターネットに関すること	22	31.0
ボランティア活動のために必要な知識・技能	21	29.6
自然体験や生活体験などの体験活動	9	12.7
学校での正規課程での学習	3	4.2
その他	2	2.8
わからない	0	0.0

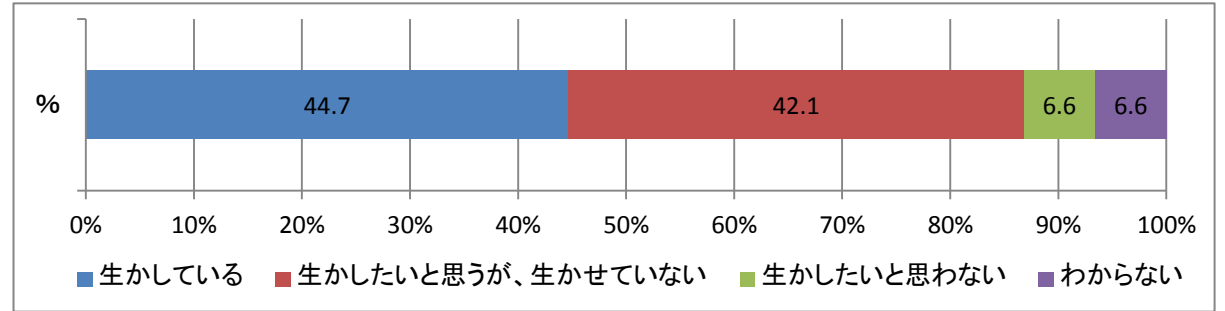


問3-1-1 「その他」と回答された方は、詳しくご記入ください。(必須回答)

・まちづくり、地域振興。
 ・生涯学習センター主催の土曜講座、和歌山大学の授業を聴講生として学習しています。また、スポーツジムで健康維持に努めています。

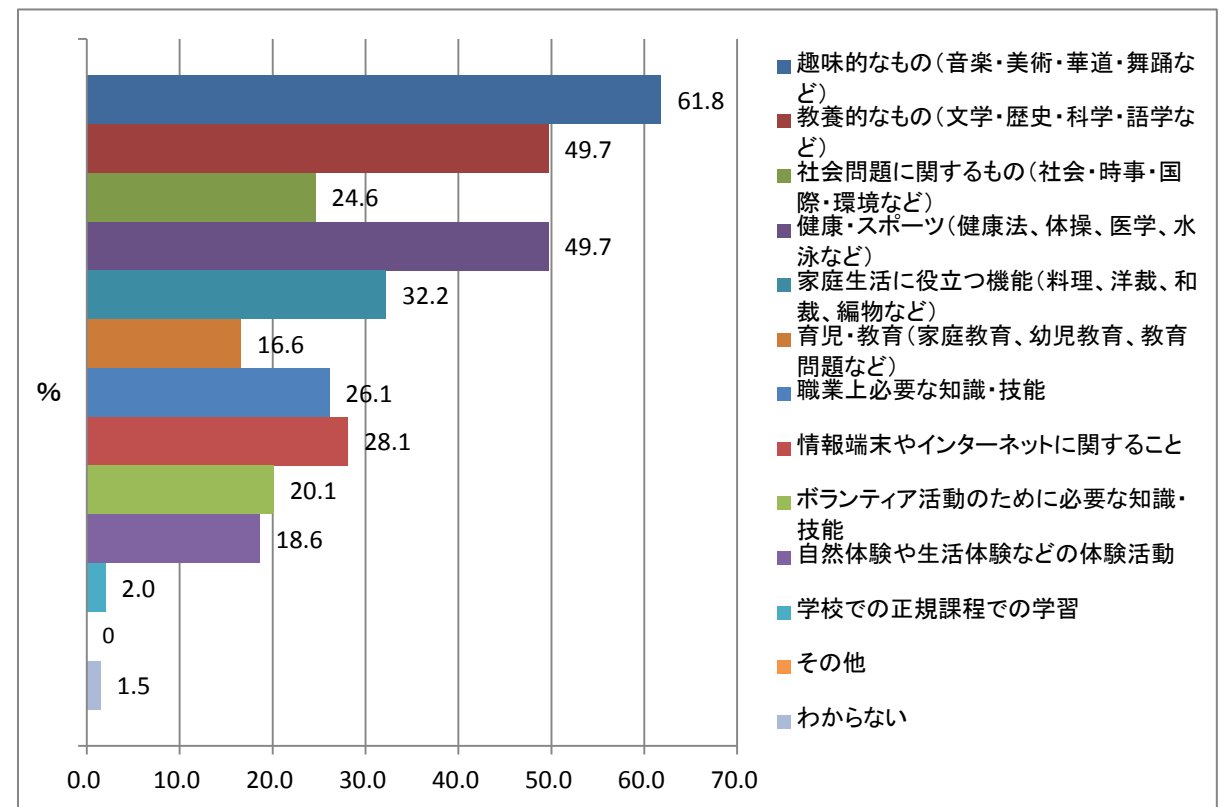
問3-2 「現在、生涯学習をしている」、「生涯学習をしていたが、もうしたくない」と回答された方にお聞きします。生涯学習を通じて身につけた知識・技能や経験を、地域活動に生かしたいと思いませんか。また、実際に生かしていますか。(n=76)

内訳	回答	%
生かしている	34	44.7
生かしたいと思うが、生かせていない	32	42.1
生かしたいと思わない	5	6.6
わからない	5	6.6
合計	76	100.0



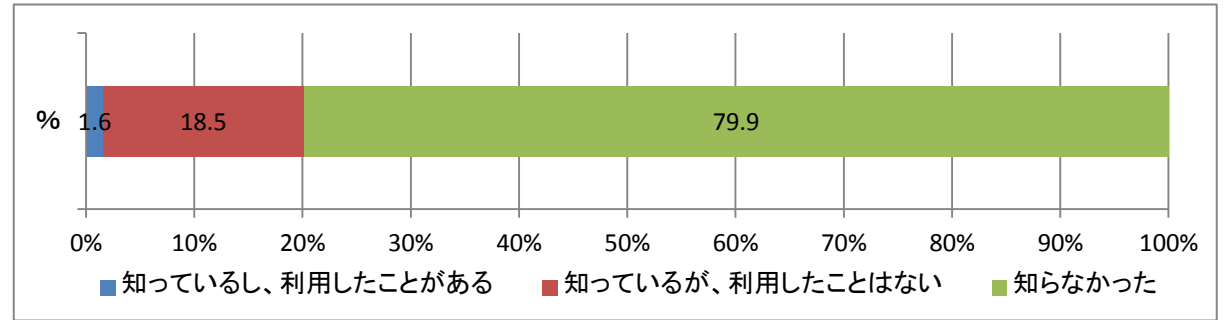
問3-3 「生涯学習をしていないが、今後したいと思っている」と回答された方にお聞きします。今後、学習したいと思っている分野はどんな分野ですか。(複数回答可)(n=199)

内訳	回答	%
趣味的なもの(音楽・美術・華道・舞踊など)	123	61.8
教養的なもの(文学・歴史・科学・語学など)	99	49.7
社会問題に関するもの(社会・時事・国際・環境など)	49	24.6
健康・スポーツ(健康法、体操、医学、水泳など)	99	49.7
家庭生活に役立つ機能(料理、洋裁、和裁、編物など)	64	32.2
育児・教育(家庭教育、幼児教育、教育問題など)	33	16.6
職業上必要な知識・技能	52	26.1
情報端末やインターネットに関すること	56	28.1
ボランティア活動のために必要な知識・技能	40	20.1
自然体験や生活体験などの体験活動	37	18.6
学校での正規課程での学習	4	2.0
その他	0	0.0
わからない	3	1.5



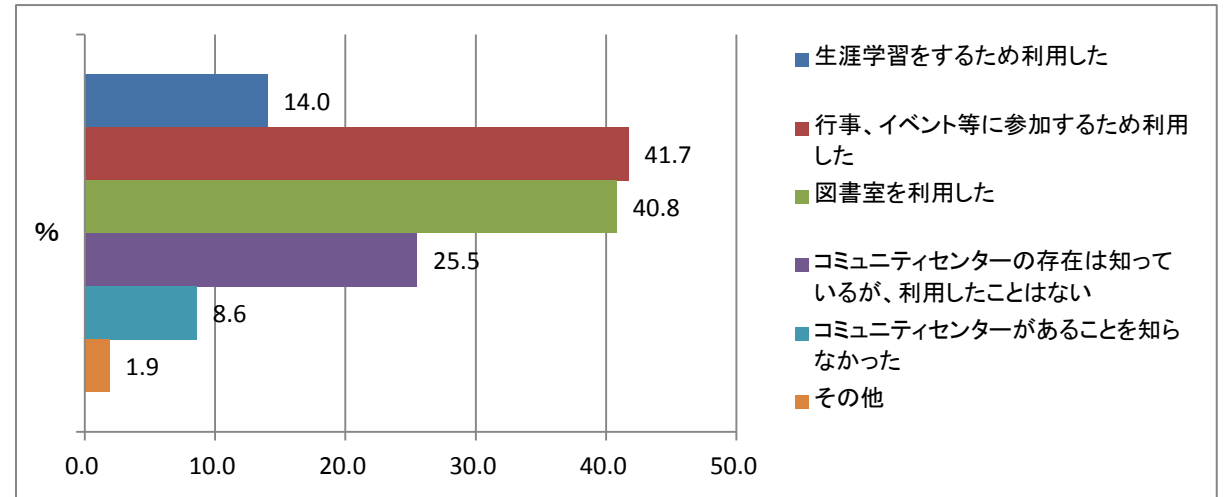
問4 和歌山市生涯学習人材バンクを知っていますか。

内訳	回答	%
知っているし、利用したことがある	5	1.6
知っているが、利用したことはない	58	18.5
知らなかった	251	79.9
合計	314	100.0



問5 生涯学習をする場のひとつとして、コミュニティセンターがありますが、コミュニティセンターを利用したことがありますか。(複数回答可)

内訳	回答	%
生涯学習をするため利用した	44	14.0
行事、イベント等に参加するため利用した	131	41.7
図書室を利用した	128	40.8
コミュニティセンターの存在は知っているが、利用したことはない	80	25.5
コミュニティセンターがあることを知らなかった	27	8.6
その他	6	1.9

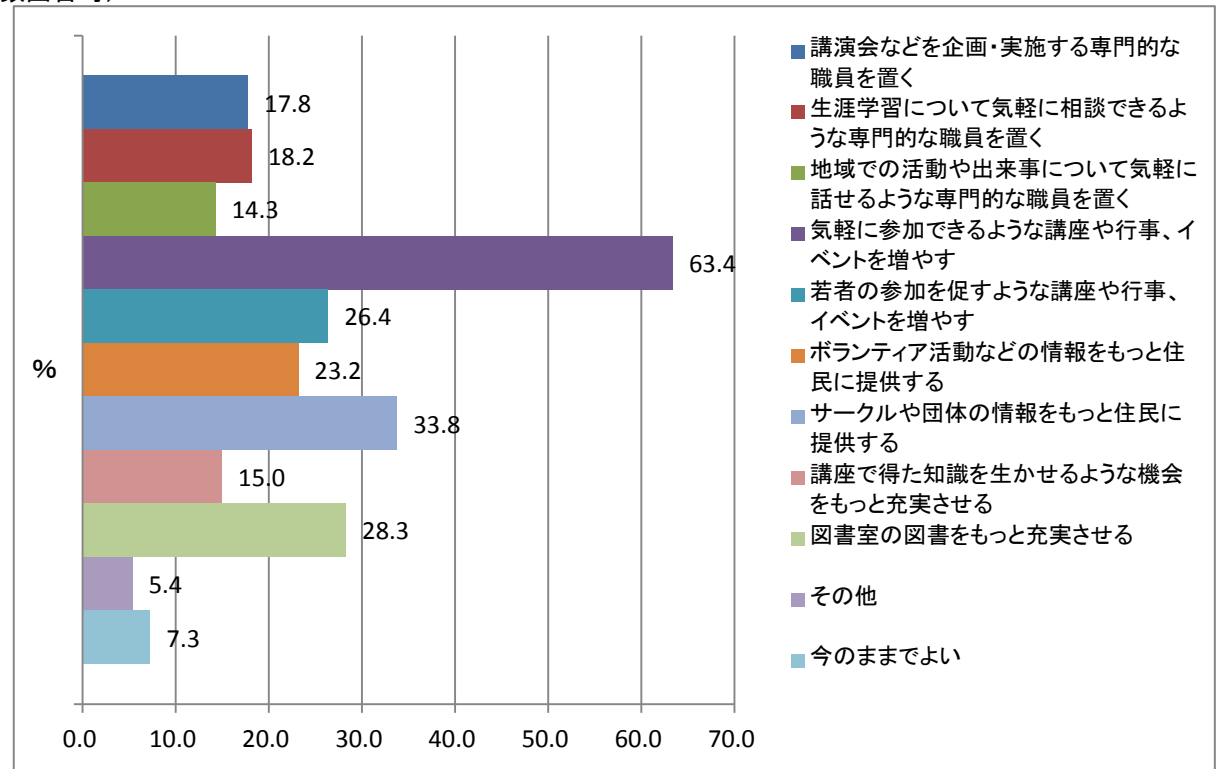


問5-1 「その他」と回答された方は、詳しくご記入ください。(必須回答)

- ・和歌山青年会議所の委員会の会議室としての利用。
- ・仕事で利用しました。
- ・地域にコミュニティセンターがない。
- ・勤務先で研修会を主催した。
- ・住民票を取りに。
- ・PTA活動のミーティングを開いた。

問6 コミュニティセンターがどのようになれば、もっと利用したいと思いますか。(複数回答可)

内訳	回答	%
講演会などを企画・実施する専門的な職員を置く	56	17.8
生涯学習について気軽に相談できるような専門的な職員を置く	57	18.2
地域での活動や出来事について気軽に話せるような専門的な職員を置く	45	14.3
気軽に参加できるような講座や行事、イベントを増やす	199	63.4
若者の参加を促すような講座や行事、イベントを増やす	83	26.4
ボランティア活動などの情報をもっと住民に提供する	73	23.2
サークルや団体の情報をもっと住民に提供する	106	33.8
講座で得た知識を生かせるような機会をもっと充実させる	47	15.0
図書室の図書をもっと充実させる	89	28.3
その他	17	5.4
今のままでよい	23	7.3



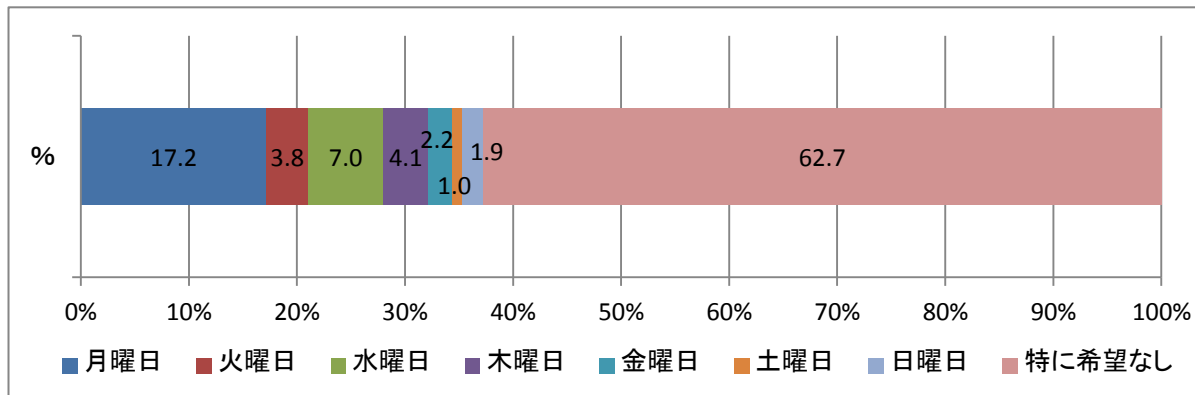
問6-1 その他と回答された方は、詳しくご記入ください。(必須回答)

- ・音楽サークル活動に利用できる。
- ・地域力を発揮できるリーダーの発掘、育成。
- ・駐車場をもっと広く、使用料を安くしてほしい。
- ・駐車場が少ない。また、あっても有料である。
- ・第8ブロックにコミュニティセンターの設置を切望します。
- ・名草地区に在住していますが、コミュニティセンターが近くにない。
- ・行ったことがないので、どのようになればなどわからない。
- ・ふじと台のような、人口急増地域にこそ、コミュニティセンターが必要です。
- ・職員の対応の改善を求めます。もっとモチベーションを上げて取り組んでいただきたい。
- ・どういう層に利用してほしいかによるが、働き世代に利用してほしいなら夜型にする。
- ・施設そのものが不要。市の外郭団体として市の職員の受け皿になっているに過ぎない印象がある。
- ・センター長姿勢次第で決まる。上から目線のセンター長は最低である。
- ・講座などを開きたいと考えている人に、どうすれば開けるのかノウハウをサポートする。無料で場所を提供する。
- ・何をしているのか告知をしっかりと行う。定期的な講座だけでなく、子どもと学べる講座や、1日だけの体験講座を充実させてほしい。
- ・土日や夜間など、利用時間の一部見直し。コミュニティセンターで教室などをしているのは知っていますが、平日は仕事のためなかなか利用できません。
- ・コミュニティセンターをよく利用しますが、職員の中に傲慢な態度をとる人がいるため、何回かに1回は嫌な思いをします。問題のある利用者も多いからかとは思いますが、利用したいという思いを減少させる対応で残念です。

・コミュニティセンターは生涯学習等でよく利用していますが、その会場を提供しているだけと思っていました。職員も事務的な対応だけでした。会場の貸し出しが主な仕事のように思います。市当局の各種イベント等を積極的に提供してほしいと思います。

問7 コミュニティセンターの休館日は何曜日を希望しますか。

内訳	回答	%
月曜日	54	17.2
火曜日	12	3.8
水曜日	22	7.0
木曜日	13	4.1
金曜日	7	2.2
土曜日	3	1.0
日曜日	6	1.9
特に希望なし	197	62.7
合計	314	99.9



問7-1 問6で回答した曜日を選んだ理由をご記入ください。(任意回答)

【月曜日】

- ・休日の翌日だから。
- ・週末を避けると月曜が良いかと思う。
- ・月曜日が覚えやすいから。
- ・美術館、博物館の休みだから。
- ・図書館等、月曜日が休館の施設が多い。
- ・土日は開けておいてほしいから。
- ・比較的に使用頻度が低そうなので。
- ・平日に休館していただくのが好ましい。
- ・働いている人は、休日を利用して開催したい。
- ・公立図書館の休館日と違う日にしてほしい。
- ・公共施設の休みが多いので覚えやすい。
- ・週明けは忙しいので、利用する機会が少ない。
- ・土、日の後が良いと思う。県立図書館も月曜日休みだから。
- ・家の用事で忙殺され、出かける余裕のないことが多いから。
- ・毎日参加しているクラブが休館日なので。
- ・土日祝以外であれば特に希望はない。コミュニティセンターによって休館日を変えるのも良いかもしれない。
- ・平日が空いている人はだいたいどの曜日でも利用可能。土日が休みの人はどちらかに利用するので、月曜を休館日にするのが妥当なように思う。

【火曜日】

- ・平日ならいつでもよい。
- ・土日は開けてほしい。
- ・市役所、県立図書館と同じでない曜日。
- ・比較的休みが多い業界がある。
- ・仕事が土日休みなので、平日に休みにしてほしいため。
- ・平日休みの人が基本少ないのと、わからないが、火曜休みの人というのが比較的少ないのかな？と考えた結果です。

【水曜日】

- ・休日に利用したい。
- ・平日ならいつでも良いから。
- ・自分の休みが土日のため。
- ・土日を外す。
- ・なんとなく。
- ・週の真ん中だから。
- ・祝日と重なることが少ないのではと思いました。
- ・図書館が月曜休みのため、その日以外で。
- ・月曜、金曜は有給休暇を取りやすいので、開いてほしい。
- ・土日祝日は休まないでほしいというだけで、特に「この曜日！」というわけではないが、最も祝祭日とならなそうなのが水曜日だったので。
- ・和歌山市の公共の施設やコミュニティセンターの利用申し込みをしたことがあるのですが、月曜日は揃って定休日というのはどうも不思議でたまりません。現在和歌山市民図書館を市駅にという計画がありますが、今までは図書館の駐車場の料金がなくてゆっくり本も読めないという声が聞かれます。かといって無料にする必要もないと思うのですが、それよりもコミュニティセンターを充実した方が、地域の住民が活用しやすいのではないかと思います。休館日はバランスよく考えてほしいと思います。

【木曜日】

- ・週の真ん中だから。
- ・社会人でも活用できるから。
- ・一番利用者数が少なそうのため。
- ・仕事を休まないであろうと思う日であるため。
- ・木曜は、病院も休みで覚えやすいから。
- ・県の諸施設と休みをずらしてほしい。一緒だと空白が出来る。
- ・金～月は休暇や前後の有給休暇などで利用しやすいので。
- ・現在は金曜日に実施されていると思いますが、週半ばの木曜日の方が良いかな…。

【金曜日】

- ・行事が少ない。
- ・今まで通りでいいから。
- ・現在の金曜日で結構です。
- ・現在も市民図書館の休館日は金曜日ですから。
- ・図書室と同じにした方が良く思うから。

【土曜日】

- ・休みだからです。
- ・子供がいるから。預ける土日が良い。
- ・近くにコミュニティセンターがないので、休みの土曜日が都合が良い。

【日曜日】

- ・日曜日に行くことは少ないから。
- ・日曜日はスポーツや家族サービスのため。
- ・日曜日は月曜からの仕事のために休みたい。

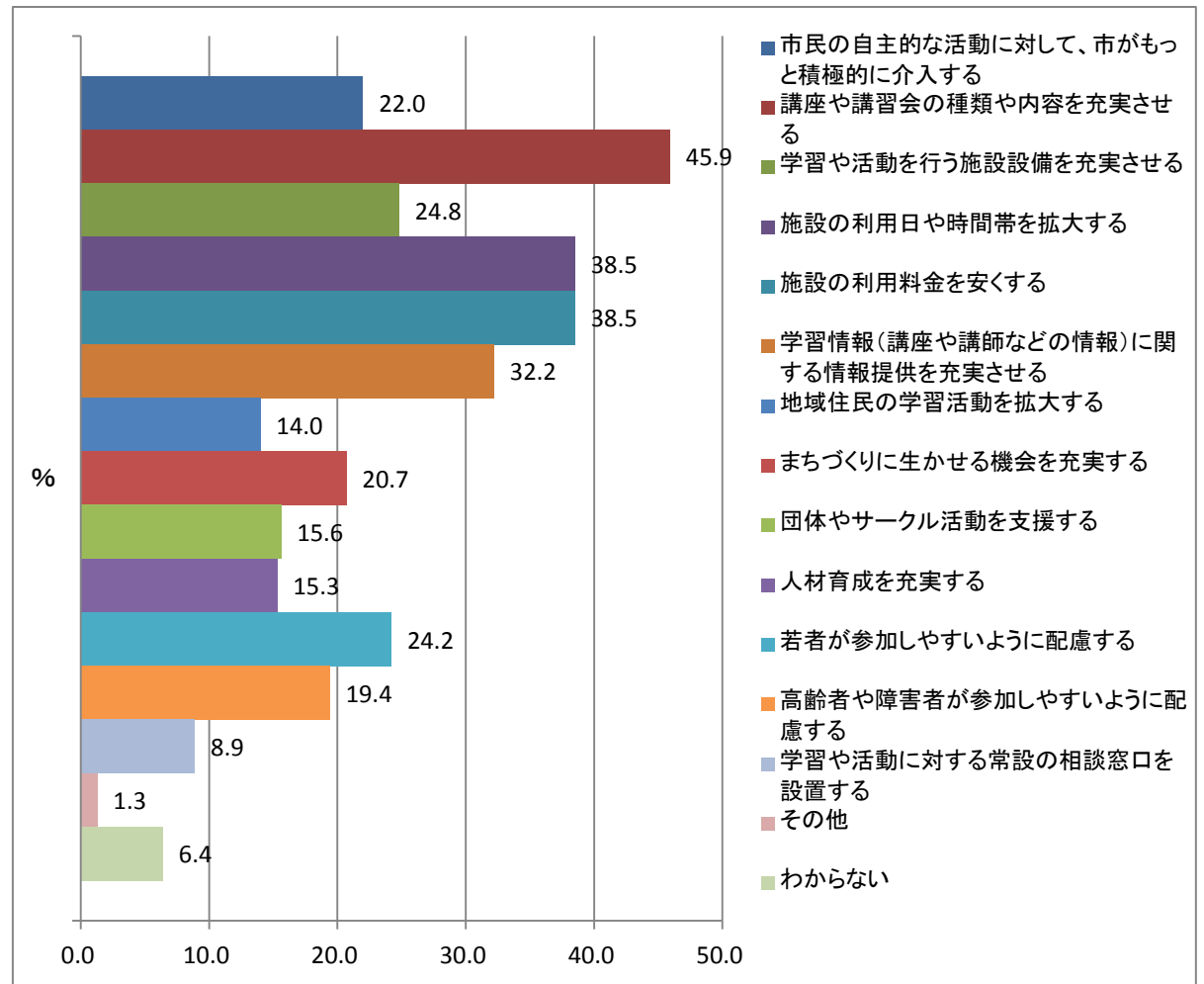
【特に希望なし】

- ・コミュニティセンターは不要。
- ・平日を希望。
- ・休館日にあわせる。

- ・土日以外が良いと思う。
- ・平日ならいつでもよい。
- ・日曜以外ならいつでも一緒なので。
- ・基本休館日は無し。年末年始のみ休館。
- ・コミュニティセンターの休館日をなくしてほしい。
- ・平日しか利用できないから。
- ・土日祝日は開館してほしい。
- ・時間の自由は効く。
- ・休館するべきではない。
- ・どの曜日でも対応可能だから。
- ・土日以外ならば...どの曜日がいいかわからず。
- ・年金者なので、曜日を合わせる事が出来ます。
- ・土日は開けてほしい。利用しやすさが違って来るから。
- ・仕事が不定休な為、いつ休館日でも良いと思ったから
- ・現状は各コミュニティセンターが設定している休日によいと思います。
- ・活動や行事、企画等の情報を一元的に得る手段がない(分からない)から。
- ・何曜日に設定しても、都合のいい日、悪い日が出来るから。
- ・本当は休館日無しにしてほしい、指定管理者制度を使えば出来るはずではないか。
- ・誰もが利用できるようにするためには、無休にするか曜日は固定しないほうがよい。
- ・コミュニティセンターに休館日って必要ですか？年末年始だけで充分では？
- ・何曜日にしても行けない人はいると思うから。休館日なしでお願いしたい。
- ・特に希望はありません。むしろ休みなしでもいいと思います。利用はあると思います。
- ・本当は無休でお願いしたいが無理なので、できるだけ開館してほしい。部屋を利用するのが重なるので、部分開館が嬉しいのだが・・・。
- ・休館日は必要なし。年中開館すべし。安い値段で食事なども出来るようにして気軽に集まれる様な場所にするのがよいと思うが。
- ・現在休館日は金曜日が多いようですが、まあ週一回は休館は仕方ないと思います。あえて何曜日という希望はなく、このままでもいいと思います。
- ・高齢者は毎日休み、勉強のできる場所を住居の近くでやること、本町地区は本町会館を使うとか。
- ・それぞれの生活スタイルがあるので、どの曜日を休みにしても一定は不利を受ける人がいるため特に希望はないを選びました。
- ・人の利用の多い土日を開放してくれば平日はいつでも(振替休日の多い月曜を除いて)休館日にしていきたいと思います。
- ・曜日で決めるとその曜日だけしか利用できない人には不便だと思うので、日にち、例えば5日、15日、25日などとすれば曜日が固定されないと思います。

問8 生涯学習の充実のために特に力を入れてほしいことは何ですか？（複数回答可）

内訳	回答	%
市民の自主的な活動に対して、市がもっと積極的に介入する	69	22.0
講座や講習会の種類や内容を充実させる	144	45.9
学習や活動を行う施設設備を充実させる	78	24.8
施設の利用日や時間帯を拡大する	121	38.5
施設の利用料金を安くする	121	38.5
学習情報（講座や講師などの情報）に関する情報提供を充実させる	101	32.2
地域住民の学習活動を拡大する	44	14.0
まちづくりに生かせる機会を充実する	65	20.7
団体やサークル活動を支援する	49	15.6
人材育成を充実する	48	15.3
若者が参加しやすいように配慮する	76	24.2
高齢者や障害者が参加しやすいように配慮する	61	19.4
学習や活動に対する常設の相談窓口を設置する	28	8.9
その他	4	1.3
わからない	20	6.4



問8-1 「その他」と回答された方は詳しくご記入ください。（必須回答）

- ・①学習レベルの高度化。②IT利用による学習の効率化。③官民協力による予算の効率化。④市民の人々の能力開発。
- ・生涯学習センターのセンター長がお役人根性丸出しであれば最悪である。人選を間違えないようにしてほしい。
- ・市民の自主的な活動に対して、積極的に援助する必要がある。

問9 生涯学習について、ご意見等ございましたらご記入ください。(この設問は任意回答です。)

- ・ 今後に期待。
- ・ 高齢者は無料で、住まいの近くで受講できること。
- ・ 近くにコミュニティセンターあったらいいのにと、いつも思っています。
- ・ 地域の活動がもっと盛んになれば、よりいいです。
- ・ そもそも、生涯学習について何も知らない。
- ・ 生涯学習で困るのは高齢者の方のわがまま。
- ・ 学習したい項目を検索できるサイトを開設する。
- ・ 本人の自覚の問題であって、満杯になる状態なら補充したらいい。
- ・ 自治会という旧態では地域力は衰退するかも。
- ・ 若者や県民をもっと巻き込んでいけばよいと思う。
- ・ 興味度で意見が分かれる。参加者数で計れない。
- ・ 自習室など開放してくれれば学生や生涯学習に良いと思います。
- ・ もっと今の政治についてわかりやすく説明する場であってほしい。
- ・ 学習内容によってはインターネットとタイアップして施設を運営するのが良い。
- ・ 主婦、年配者むけの講座が多い気がします。なかなか敷居が高いです。
- ・ 老人が家に引きこもってはいけない。体を動かすことが一番。
- ・ 和歌山市は議員達や、和歌山市の職務執行者の意識が低すぎる。
- ・ 市は生涯学習を福祉協議会に任せずに、自らタッチして実施してはどうですか。
- ・ 個人の自由ですが、市政の売り込みも必要かと…。
- ・ 学習環境(施設、講座内容)を充実し、PRに努めて頂けたらと思います。
- ・ 高齢者の経験を利用できる機会を話し合う場をもっと作ってほしい。
- ・ 総合的な情報窓口が市役所や県庁に是非ともほしいと思います。
- ・ 正規の資格を有する人に指導者として協力をお願いして下さい。
- ・ 高齢になると遠方での参加が難しくなるので、近隣でそういう事に参加できる場が増えると良いと思います。
- ・ コミュニティセンター前は中央に駐車場がなかった。今はあるようだが、和歌山で駐車場がないのは使えない。
- ・ コミュニティセンターでの生涯学習活動に力を入れているとは感じれない。もっと地域に根づいた活動をする場としてほしい。
- ・ 仕事をしている為、利用できる時間が限られます。平日の夜などの利用を増やしてほしいと思います。
- ・ 色々な講習会等の開催とか、講演会などの開催等を実施するとともに、案内等をわかりやすくしてほしい。
- ・ 知りたい(勉強したい)がその方法がわかりません。生涯学習に関して相談できる窓口を早急に設けてほしい。
- ・ 目的を持って活動していると、自身の生き甲斐にもつながり、生活にハリがでると思うので必要なことだと思います。
- ・ 生涯学習という言葉がピンとこない。気軽に参加しやすい印象を持てるような名称に変更しては？
- ・ 自分はもう年老いてるので少しは勉強したいと思いますが、若者が積極的にできるように願います。
- ・ 仕事してる人が行ける時間帯、主婦が行きやすい時間帯など考えたらもっとみんな利用すると思います。
- ・ 広報という点で不十分かもしれません。門戸を広げるためにわかりやすく人が集まりやすい講演などを多くしてほしい。
- ・ 学習をしたいと思いますが、あまり地域に拘りがあると、コミュニティに参加しにくい。地域がかえって弊害と思います。
- ・ 南コミュニティセンターを新たに建設することが大切です。すでに中央コミュニティセンターは超繁忙の様子で解決策としても必要かと思っています。
- ・ 生涯学習の充実は、基本的には各個人、グループが行うべきで、市や指導者に依拠すべきでない。
- ・ 「社会全体における家庭教育」、「地域の教育力」という言葉について、具体的にイメージすることができなかった。
- ・ いつも使わせてもらっています。図書館は9時開館にしてほしいと思います。各部屋に雑巾は配置してほしい。
- ・ 学習という堅苦しい考えではなく、気楽に興味があることに集まれるような雰囲気してほしい。
- ・ 学習は自発的にならないとあまり意味がないものだから、そんなに何から何までお膳立てする必要はないと思うな。
- ・ 立派な施設を作っても中身が空っぽみたいな政策はとらないでほしい。饅頭の皮がしっかりしても餡子が不味ければ意味はない。
- ・ 河西コミュニティーセンターの駐車場が三分割され大型の車は出入りが狭く出入りしづらく感じています。改善できないでしょうか。
- ・ 生涯学習とは誰でも何処でも何時でも、個々の都合に合わせて小学校から大学院レベルまで効率よく学習できるのを理想とすべし。

- ・自分自身の社会的な意識の向上を図れる学習項目の充実と、年齢に応じて地域に還元できる色々な窓口の検討をお願いしたい。
 - ・奥が深いのでなかなか簡潔に出来ないが、毎年やり方を変えたり、人を変えたりして生涯学習する人を増やしていければいいと思う。
 - ・センター長の人柄、能力、姿勢次第で色々なことが決まってしまう。官僚的人物は最低である。何のためにこういう施設があるかわからない人物を配置しないようにしてほしい。
 - ・市のホームページを見たが、あまり興味の湧く講座はなかった。市民の自発的な事に利用できるようにし、図書も充実させ、一日過ごせるように、食事なども安い料金で出来ればよいのだが。
 - ・現代はストレス社会と言われている時代背景なので、もっと人に寄り添った内容の学習を窓口、広く内容端的、わかりやすく簡単に学べる場所と人材を増やしてほしい。
 - ・講座等は、何処で何をやる計画なのか等の情報発信をやって頂けたら現状で良いと思います。(市報わかやまだけでなく、地方新聞や全国紙の和歌山欄に)
 - ・生涯学習は健康に楽しく老いる為に必要だと思うし、そのためのコミュニティセンターだと思う。一部の市民だけでなく、広く多くの市民が活用できるように工夫してほしいと思う。
 - ・ほとんどのコミュニティセンターを利用しましたが、場所により係の人が高圧的で怖い所がありました。天下りの職員でしょうか。利用者はお客さんです。貸してやっているという雰囲気は何処でも感じられます。もっと教育を。
 - ・手話、習字、朗読、を学んでいる。昨年迄は放送大学に学んでいたが、コストが高く効率も低いので休学している。放送を聞くような一方的なシステムではなく、教室で学ぶような大学がほしい。講義内容は地方の歴史的な内容や、現代人としての最新知識を望みます。
 - ・高齢者が増大する今日。仕事をするか、学習をするか、ボランティアをするか何らかの形で社会と関わり続けたいと思う人は増えると思われ、その受け皿として、行政などはもっと力を入れるべきと考えます。
 - ・生涯学習とやや主旨が異なるかもしれませんが、和歌山市が健康で長生きできるまちになるための、学習や健康実践、中高年向けのジムなどの施設を集会場や公民館に設置、インストラクターのボランティアの育成。
 - ・どこのコミュニティセンターも駐車場完備され有難いのですが、特に気になるのは中央コミュニティセンターが中心部ということもあり、満車が多いことです。駐車場の方も多くしてくれれば、なお利用しやすくなると思います。
 - ・インターネットやスマホの普及で、自ら手や頭を動かさなくてもよくなったが、その分、文化活動や教育レベルは落ちていると思う。へら竿や那智の松明など、和歌山の伝統工芸品などの弟子入門なども行えばいいと思う。
 - ・高齢者の増加に伴い、時間とお金のある方々にご自身の健康寿命を延ばすためにも、学習していただいたり、ボランティアに参加いただいたり、ボランティアポイントを生涯学習に利用するなら2倍にする等してほしいと思います。
 - ・若い時期から参加しやすいようにすれば、高齢者になるまで幅広く活動ができ、いつまでも若々しく、健康でいられる期間が続くのではと思います。また、後継者にも繋がるのではないのでしょうか。
 - ・各種会場を見ても男性の参加が少ないように思いますので、女性に協力してもらおう等、男性が積極的に参加する方策も考えてほしいと思います。生涯学習は所詮本人のやる気の問題だと思います。
 - ・もっと、身近なところから、誰もが入りやすく情報ももっと身近でキャッチ出来るように流してほしいです。回覧板等、月に一度フリー雑誌なんかを発刊するとか、保存版で発刊年一度配布する等。
 - ・市民の視点というか、思いつくことはあまり差異がない。行政が積極的にコーディネートすることで、より充実した内容の実施を求めます。間口だけが広い入門編の総花的なオンパレードはもういいです。
 - ・生涯学習は習うよりも興味を持つことのほうが大切かなと思います。講座を増やすよりも、体験みたいなものを増やす方が学習啓発に繋がるのかなとは思います。以前から気になっているのですが、このアンケートはどのように活かされているのでしょうか？集計して、「ふーん、そうなのか」ではただもったいないだけだと思います。アンケート結果と、それによってどのように具体的に活用し、変化したかを知りたいです。
- 設問1、2は、意味がわからず回答できませんでした。サークル活動、学習でコミュニティセンターをよく利用していますが、中央コミュニティセンターは、ほかのコミュニティセンターと違って夜の利用時間、9時30分には施設を退出しろと言われる。私の認識では、利用時間は、会場の鍵を施錠するまでと思っています。担当者によりまちまちなのは困ります。統一してください。夜のこの時間は貴重なのです。
- ・あること自体がよくわかりません。もっと情報をPRをする必要があると思います。また、リタイヤされた方の中には有能な方がいらっしゃると思うので、講師もいろいろ探された方がいいと思います。とにかく、手軽に講習会に参加できるような雰囲気作りが大切だと思います。
 - ・どんな学習支援が行われているか、どのような講座があるかなどわかりにくいと感じます。できれば月に1回の市報や県の広報誌と一緒に、生涯学習講座やサークルなどの紹介をするパンフレットを挟んでいただけると嬉しいです。

☆お忙しい中、多くの貴重なご意見ありがとうございました。今回のアンケート調査で、「講座や講演会の情報をもっと提供してほしい」との意見を多くいただきました。現在、講座の情報提供に関しては、市報わかやまに募集のある講座情報を掲載していますが、皆様のご意見を受けて、今後は、講座の予定などの情報を市のホームページで提供するとともに、コミュニティセンター等、市民の集まる場所でももっとわかりやすい情報提供を検討していきたいと思っております。今後とも皆様方のご利用とご協力をお願いします。